



猪苗代町長 前後 公

明けましておめでとうございませす。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、日頃から本町発展のため、温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症対策の最前線でご尽力いただいている医療従事者の皆さまをはじめ、同感染症対策に取り組んでいただいている町民の皆さまと事業者の皆さまに改めて敬意と感謝の意を表します。

一昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、ワクチンの接種が進むとともに、日常的なマスク着用、こまめな手洗いと消毒、室内換気など、皆さまのご協力によりまして、県内での新たな感染拡大も現在のところ落ち着いている状況です。

本町では、これまでの基本的な感染予防対策を奨励し、変異株による第六波の感染拡大を想定しながら、3回目のワクチン接種など

の対策を行ってまいりますので、引き続き皆さまのご協力をお願い申し上げます。

昨年は、1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本町では聖火リレーやホストタウンとしてガーナ選手の前合宿の受け入れを行うことができたこと、また、道の駅猪苗代が県内初の「防災道の駅」に選定されたことなど、新型コロナウイルス関連の報道が連日続く中で明るい話題もありました。

一方で、長引く経済活動の自粛により、町内の産業は深刻な影響を受けた1年でもありました。新年を迎え、これから本格的なスキーシーズン、そして春の観光シーズンへと続いていきますが、町内経済の活性化が図られるよう、関係団体と連携しながら、商工観光業や農業をはじめとする産業の振興に状況を見極めながら、スピード感をもって取り組んでまいります。

また、4月には新しい「猪苗代中学校」が開校いたします。地域

の皆さまのご期待に添えることができるよう、未来を担う子どもたちのために、引き続き安全・安心で充実した教育環境の整備を進めてまいります。

本年も町民の皆さまが心地よく暮らせる地域づくりに取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆さまにとりまして、健康で笑顔に満ちた素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、本町にとりまして、コロナ禍を乗り越えて、さらなる発展に向けた飛躍の年となりますことを念願し、年頭のごあいさつとさせていただきます。



猪苗代町議会議長

渡辺 真一郎

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆さまには、日頃より町議会に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、瞬く間に全世界に拡大した新型コロナウイルス感染症により、命や健康への不安だけでなく、人の移動や接触の制限によって経済活動や日常生活のさまざまな分野で深刻な影響がありました。このような中、ようやくワクチンの接種や皆さまのウイルス対策の徹底により感染者が激減し、少しずつではありますが回復の兆しが見えてまいりました。日本は先進国の中でも極めてコロナ感染者が少なく、清潔な生活様式を世界にアピールすることができたことで国としての大きな信用を築くことができたのではないのでしょうか。再流行の心配が無くなった訳ではありませんが、希望の持てる状況の中で新年を迎えることをうれしく思います。

本年4月には統合中学校が開校します。「環境は人をつくる」と

言います。整備され恵まれた教育環境により学力、体力の能力向上はもとより、人間性や社会性を育む面でも一層の向上が期待される場所でもあります。併せて、新校舎には避難所としての機能も備えており、災害発生の際には大きな役割を担う場所にもなります。

植物は、冬の時期に寒さに耐えて根に栄養を貯えておくゆえ、春になると新芽が育ち、花を咲かせ葉を繁らすことができるわけです。皆さまにおかれましても長いコロナ禍の困難の中で練ったアイデアやプランがようやく生かせる環境が巡ってまいりました。

町議会といたしましても町民の皆さまの期待に応えられるよう創意工夫を重ね、政策を提言していく決意でございます。どうか本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

町全体が春のような華やかさを取り戻し、大きく咲き誇ることができるよう心からお祈りいたします。年頭のごあいさつといたします。



猪苗代町教育長

宇南山 忠明

明けましておめでとうございませす。皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、本町の教育行政に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、1年遅れとなった東京五輪の聖火リレーが本町でも行われました。地元の子どもたちと元フリースタイルスキーモーグル五輪代表の遠藤尚さんが夏季五輪としては世界初の試みとなるスキーでの聖火リレーを行いました。また、本町はガーナのホストタウンとしてガーナ五輪・パラリンピック選手団の事前合宿を受け入れられました。町内の小中学生がガーナ選手団への応援メッセージや動画を作成して応援したほか、インターネットを通じてガーナの学生たちと異文化交流を図りました。

さらには、高校時代を本町で過ごしたバドミントン競技の桃田賢斗選手と渡辺勇大選手、東野有紗選手への応援メッセージ動画を作成して、各選手に届けました。見

事に銅メダルを獲得した渡辺・東野両選手からは、オンラインでのメダル報告会の中で、子どもたちに日々の努力の大切さや常に目標を持って行動することの大切さを教えていただきました。

さて、統合中学校新校舎が予定どおり完成し、1月下旬には町民の皆さまへの内覧会を予定しています。3月末までには全ての引越し作業が完了し、4月1日には新「猪苗代中学校」の開校式が行われる予定です。これまでの校舎建設工事にあたり、町民の皆さまにご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。新年度は、旧校舎の解体と新体育館の工事に入りますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの予防接種も進み、感染者も徐々に減少するなど明るい兆しも見えはじまりましたが、変異株「オミクロン株」の感染が確認されるなど、未だ予断を許さない状況が続いていますので、引き続き基本的な感染症対策をお願いいたします。

年頭のごあいさつ